

「落花生」生育情報（第3報）

平成28年 9月 9日
千葉県農林水産部
生産振興課

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育を情報提供するものです。
調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を保証するものではありません。

1 生育状況

調査ほ場における9月1日現在の生育状況は平年と比べ、さや実数は、「千葉半立」がやや多く、「ナカテユタカ」は並、「おおまさり」はやや少なくなりました。さや重では、「千葉半立」でやや少なく、「ナカテユタカ」、「おおまさり」では少なくなっています。また、上さや数は品種で差がみられ、上さやの不稔歩合（空ざや）は平年に比べ3品種とも少なくなりました。

これは、土壌水分が必要な結莢期に降雨があり、水分が確保されたことでさや実数はある程度確保され、また不稔も少なくなったと考えられます。その後、莢実が肥大する8月中旬、下旬の日照量が平年の7割程度であったため、光合成が抑えられさや実重が少ない傾向となったと考えられます。

表1 作況調査成績（9月1日調査）

品種名	年次	①	②	③	④	⑤	⑥	上さや 不稔歩合 (%)
		開花期	さや 実数 (個/株)	上さや数 (個/株)	下さや数 (個/株)	㎡当たり 生さや 実重(g)	㎡当たり 乾燥さや 実重(g)	
千葉 半立	本年	7/9	47.6	16.6	31.0	735	174	1.3%
	前年	7/9	38.7	16.9	21.8	687	146	5.0%
	平年	7/6	45.1	20.5	24.0	829	209	3.0%
	前年比	0	123	98	142	115	119	-
	平年比	3	106	81	129	89	81	-
ナカテ ユタカ	本年	6/29	53.1	27.5	25.6	900	285	0.8%
	前年	7/1	36.8	15.7	21.1	739	198	8.2%
	平年	7/4	52.9	29.0	21.8	995	311	5.9%
	前年比	-2	144	175	121	122	144	-
	平年比	-5	100	95	117	74	92	-
おお まさり	本年	7/3	66.5	21.4	45.2	856	186	0.7%
	前年	7/5	53.9	15.0	38.9	696	125	2.8%
	平年	7/6	73.6	17.8	55.8	1,032	201	1.9%
	前年比	-2	123	143	116	123	149	-
	平年比	-3	90	120	81	83	93	-

* 「千葉半立」、「ナカテユタカ」の平年値は平成21～27年（過去7年間）の平均

* 「おおまさり」の平年値は平成22年～27年（過去6年）の調査データの平均

* ①の前年比、平年比は、前年及び平年との差を示した。－は早い、＋は遅いとした。

②～⑥の前年比、平年比は、前年及び平年の値を100とした比で表した。

表2 (参考) 落花生研究室(八街市)の作況(本年の値、9月1日調査)

は種日	品種名	開花期	さや実数(個/株)	上さや数(個/株)	下さや数(個/株)	m ² 当たり生さや実重(g)	m ² 当たり乾燥さや実重(g)	上さや不稔歩合(%)
5月20日 (標播)	千葉半立	6/28	53.0	26.0	27	903	272	1.0%
	ナカテユタカ	6/27	65.6	16.8	48.8	1000	318	0.0%
	おおまさり	6/25	83.8	23.7	60.1	1097	260	0.0%
6月10日 (晩播)	千葉半立	7/12	48.5	4	44.5	854	143	0.0%
	ナカテユタカ	7/11	41.5	11.8	29.7	640	233	0.0%
	おおまさり	7/12	55.2	10.2	45.0	795	145	0.0%

2 これからの管理のポイント

(1)「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、開花期から数えて「ナカテユタカ」は80日後、「千葉半立」は95日後、「おおまさり」は85日後(ゆで莢用)です。収穫時期が近づいてきたら、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないように気をつけましょう。砂地の地域では収穫期が早まるので、早めに試し掘りをしましょう。

表3 落花生研究室(八街市・マルチ栽培)での種日、開花期、収穫期目安

品 種	千葉半立		ナカテユタカ		おおまさり	
	は種日	開花期	は種日	開花期	は種日	開花期
は種日	5月20日	6月10日	5月20日	6月10日	5月20日	6月10日
開花期	6月28日	7月12日	6月27日	7月11日	6月25日	7月11日
収穫期目安	10月1日	10月15日	9月20日	10月4日	9月13日	9月29日

* 収穫期目安は、「千葉半立」が開花期後95日、「おおまさり」が開花期後85日、「ナカテユタカ」が開花期後80日で算出(日数は標準的な目安です)。

ナカテユタカの収穫適期判断法

「ナカテユタカ」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

<方 法>

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。



(2) 丁寧な乾燥をして、おいしい落花生に仕上げよう！

おいしい落花生を生産するための乾燥のポイントは、湿気を防ぎ、風通し良く管理することです。

掘り取った落花生は、5～7日間の地干しの後、風通しの良い場所を選んで野積み(ボッチ積み)を行います。

特に「ナカテユタカ」では、茎葉が多く蒸れやすいため、注意が必要です。風通しが良い場所に小さく野積みし、ブルーシートや稲わら等で覆い、雨をしっかりと防ぎましょう。透明ビニールシートは湿気がこもりやすく、カビの発生要因となるため、使用しないでください。

(3) 来年の栽培に向けて、優良種子を確保しよう！

落花生の栽培の基本は、優良種子を確保し、発芽を揃えることです。

来年の落花生栽培のため、自家採種する種子を多めに確保し、発芽不良の原因となる幼芽褐変*がないか、確認しておきましょう。

自家採種では、異型株・異型莢を除去するとともに、十分な乾燥により、カビを防ぎ、優良種子の確保に努めましょう。



健全種子



幼芽褐変 軽度
本葉が褐変
出芽率9割



幼芽褐変 中程度
胚軸上部が褐変
出芽率6割



幼芽褐変 重症
本葉全部と胚軸上部が褐変
出芽率1割

(4) 「落花生栽培管理簿」を確認してください

「栽培管理記録簿」は、生産者自身が栽培管理や使用した肥料や農薬散布の状況を記録し、それらを集荷業者や量販店を通じて開示することで、千葉ブランド落花生の「安全・安心」を消費者へアピールすることが目的です。

出荷時に集荷業者に速やかに提出できるよう、もう一度内容を確認し、自分の保存用に控えを用意しておきましょう。